

北海道総合計画の推進状況について

本年4月から、新しい「北海道総合計画」がスタートしました。総合計画は、道民の皆様と今後の目指すべき道筋を共有し、その実現に向けて、お互いに連携を深め、力を合わせて取り組んでいくための指針です。この計画に沿って、人口減少問題や本道の強靱化などにしっかり対応し、北海道の多様な価値と強みを活かした取組を進めていくこととしています。

計画の着実な推進を図るため、毎年度の「PDCAサイクルに基づく成果志向の行財政運営システム」により、計画に掲げる指標の進捗状況などに基づく施策・事業の推進状況の評価を行うとともに、中期的に計画の推進状況の点検・評価を実施することとしています。

本年度は「北海道総合計画」の初年度となりますが、政策評価における施策評価調書をもとに、「めざす姿」を実現するために道民とともに進める政策展開の3つの分野である「生活・安心」、「経済・産業」、「人・地域」ごとに、現時点における「主な取組状況」や「今後の方向性」などの推進状況をとりまとめました。

<計画の推進について>

1 毎年度の推進管理について（毎年度サイクル）

【PDCAサイクルに基づく成果志向の行財政運営システム】（参考：別紙1）

総合計画を起点とした施策推進体系に沿って政策の目標や指標を設定（Plan）し、関連する施策・事業の実施（Do）による目標の達成状況や施策の必要性・有効性を毎年度の政策評価により客観的に把握・点検（Check）するとともに、予算編成や組織の見直し、重点政策の展開などに反映（Action）することにより、総合計画に沿った施策・事業の効果的・効率的な展開を図ります。

【重点戦略計画・地域計画との一体的な推進】（参考：別紙2、別紙3）

総合計画において重点戦略計画と位置づけている「北海道創生総合戦略」や「北海道強靱化計画」、地域計画に位置づけている「連携地域別政策展開方針」は、それぞれの推進を担う「北海道創生協議会」や「北海道強靱化推進本部」、「地域づくり連携会議」といった組織のもと、PDCAサイクルによる計画の着実な推進を図ることとしており、総合計画の推進においては、これらの計画と一体的な推進が図られるよう、全庁的横断的な推進体制として設置した「北海道総合計画推進本部」のもと、実効性の確保に努めます。

2 中期的な点検・評価について（中期的サイクル）

【点検・評価の実施】（参考：別紙1）

計画の推進状況について、北海道総合開発委員会の意見を伺いながら中期的な点検・評価を実施し、その結果を公表します。

【道民の生活満足度などの把握】

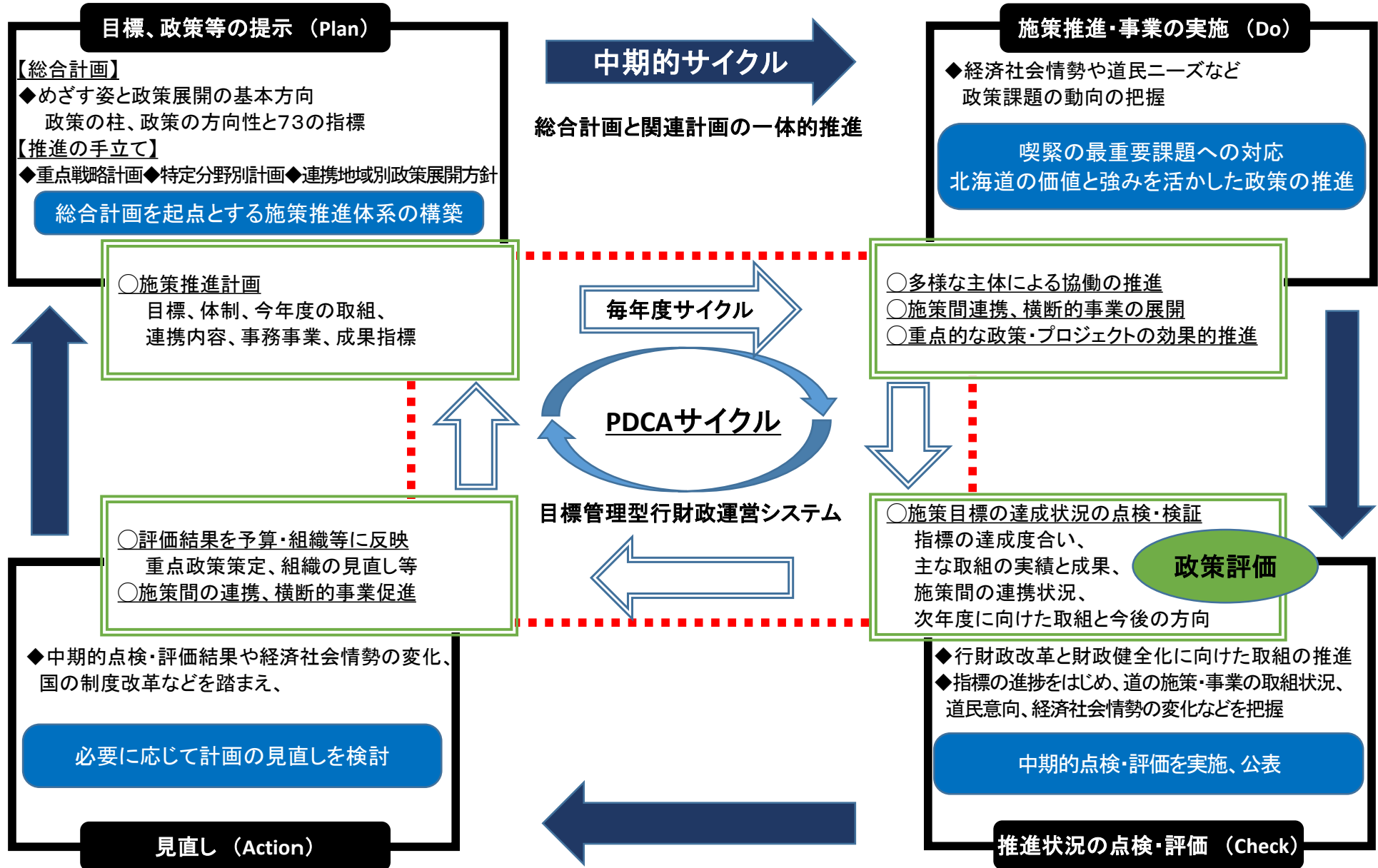
点検・評価に当たっては、道民の生活満足度や定住意識などを把握する道民意向調査を行うとともに、必要に応じて経済社会情勢の変化を適切に把握するための調査・研究を実施し、点検・評価結果に反映させます。

【計画の見直し】

中期的な点検・評価の結果や経済社会情勢の変化、さらには国における制度改革や各種計画の策定状況なども踏まえながら、必要に応じて計画の見直しを検討します。

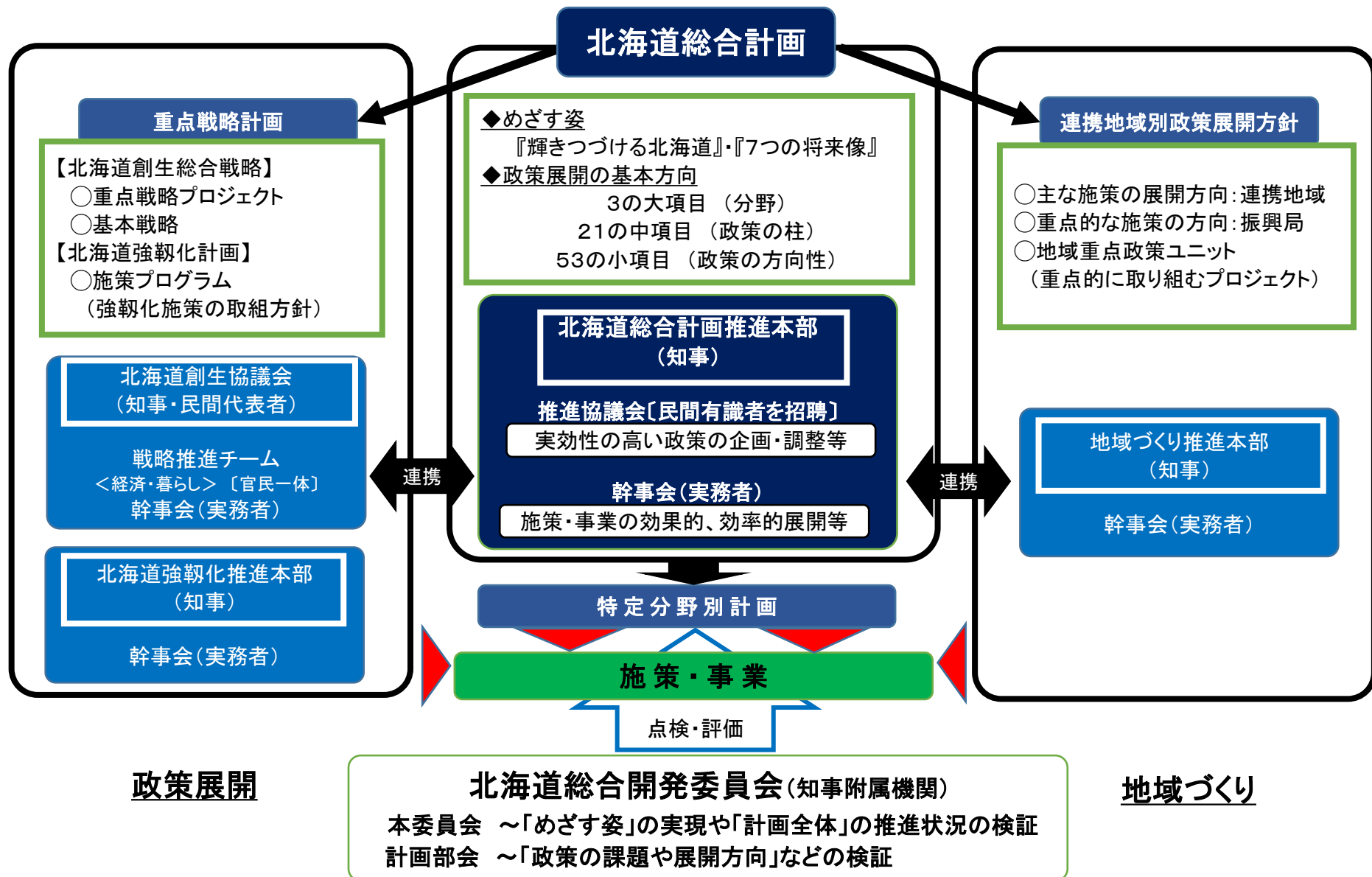
【北海道総合計画〔平成28～37年度〕の推進の仕組み】

(別紙1)



【北海道総合計画〔平成28～37年度〕の推進体制】

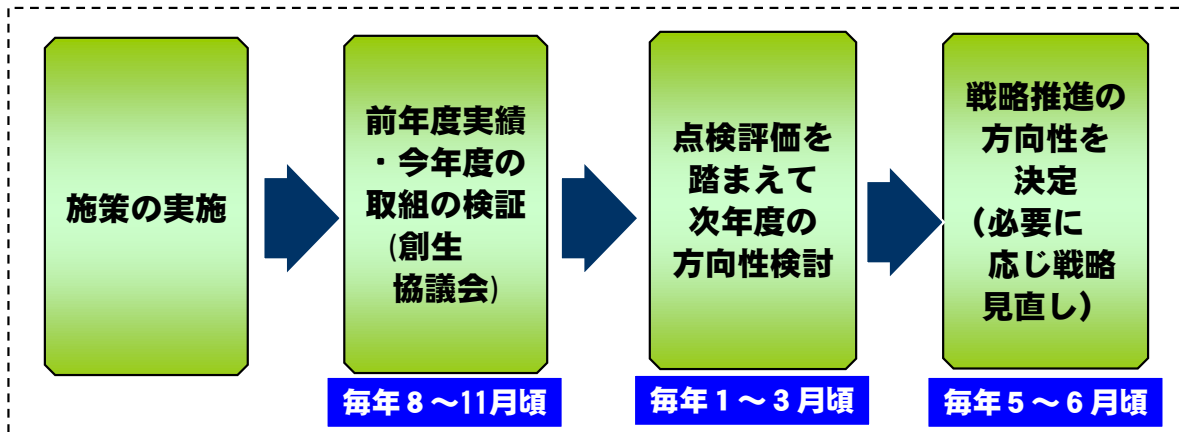
(別紙2)



北海道創生総合戦略・北海道強靱化計画・連携地域別政策展開方針 推進フロー

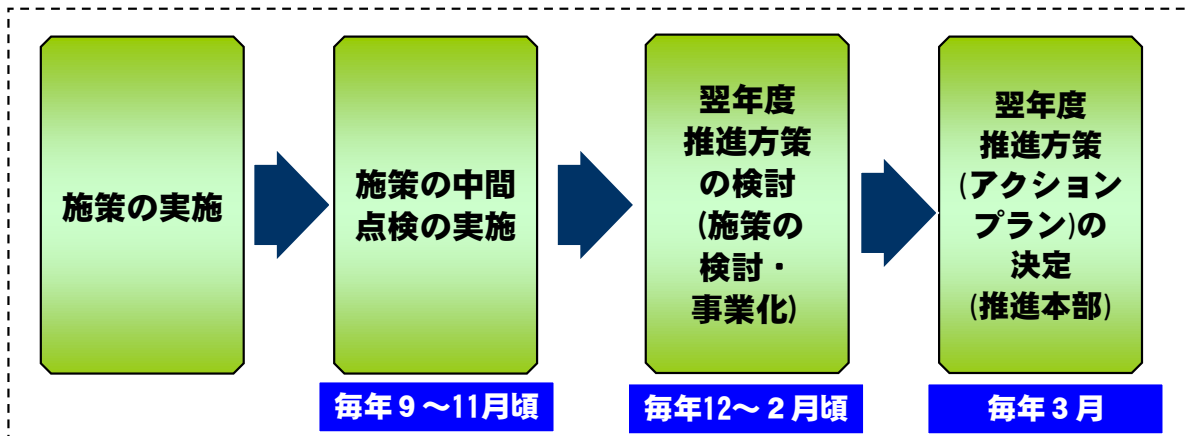
【北海道創生総合戦略】

<推進組織:北海道創生協議会>



【北海道強靱化計画】

<推進組織:北海道強靱化推進本部>



【連携地域別政策展開方針】

<推進組織:地域づくり連携会議>

